

次世代海洋資源調査技術研究組合(略称 J-MARES)の概要

組合名：次世代海洋資源調査技術研究組合(略称「J-MARES」)



組合員：石油資源開発(株)、(株)地球科学総合研究所、新日鉄住金エンジニアリング(株)、三菱マテリアルテクノ(株)

事業の概要：次世代海洋資源調査技術の実用化に係る研究開発

○組合設立の目的

我が国海域においては、これまでに熱水鉱床などの海洋資源の存在が確認されており、またこれら資源を効率よく調査するための技術開発が続けられている。しかし広大な我が国海域において調査を進めることを考えた場合、更なる調査の効率化、低コスト化が求められていることから、これらを可能とする調査技術を世界に先駆けて確立させ、実用化する。

○実用化の方向性

実用化に向けて実施する試験研究は以下の3研究課題

・各種データ取得技術の研究

(音響、音波、電磁、重磁力等の各種物理探査データ取得方法を改善)

・各種データ処理解析技術の研究

(他分野で実用化されているデータ処理解析手法等の応用)

・総合地質解釈評価技術の研究

(各種処理解析結果を統合した総合地質解釈評価を実施)

3つの研究課題について、SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)事業を有効に活用した上で実証を進め、広域調査から精密調査までの段階別調査手法を確立させ、5年以内の実用化、事業化を目指す。

本実用化により、広大な我が国海域における海洋資源調査が実現可能となり、民間調査産業の創設につながる。

